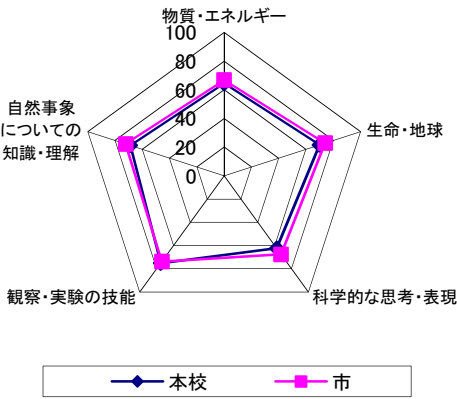


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	64.4	66.8	63.6
	生命・地球	69.9	74.0	75.3
観点別	科学的な思考・表現	62.4	67.6	65.0
	観察・実験の技能	75.3	73.8	70.4
	自然事象についての知識・理解	68.7	72.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は、市の平均を2.4ポイント下回っている。ふりこの1往復の動きや、ろ過の理解、ろそうきの燃える前後の体積変化の問題では、市の正答率を大きく上回っている。一方で、ろ過した液の重さ、電流の強さと電磁石のはたらきの関係、いろいろな気体中でのろそうきの火の様子などについての問題は、正答率が低かった。	・できるだけ実験や観察などの体験活動を多く取り入れていく。さらに、それらから得た結果をグループで話し合いながら考察していく過程を大切にしていくことで、一人一人の思考判断力を高める手立てとしていく。さらに、授業の流れや自らの考えが見えるようなノートを活用を指導していく。
生命・地球	・平均正答率は、市の平均を4.1ポイント下回っている。植物が二酸化炭素を取り入れて酸素を出す働きや月の形の見え方についての問題は、正答率が高かった。一方で、植物の水の通り道、血液循環、心臓の動きと血液の流れ、葉を日光に当てたときの酸素と二酸化炭素の量の変化などについての問題は、正答率が低かった。	・植物や動物の身体の働きについて、写真や図、映像などを活用しながら授業を行い、理解を促す。